

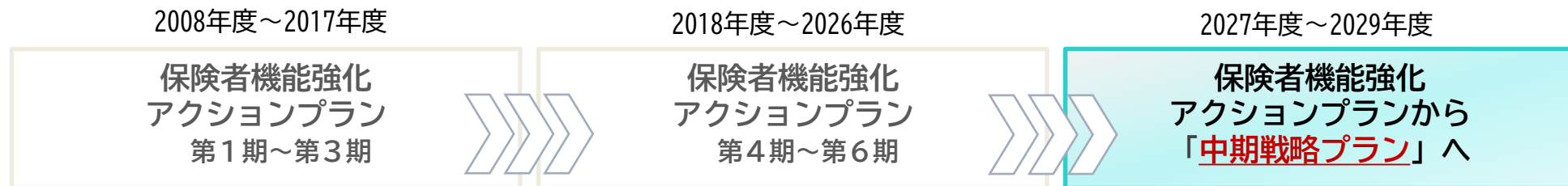
支部戦略プラン(支部健康づくり戦略) の策定について



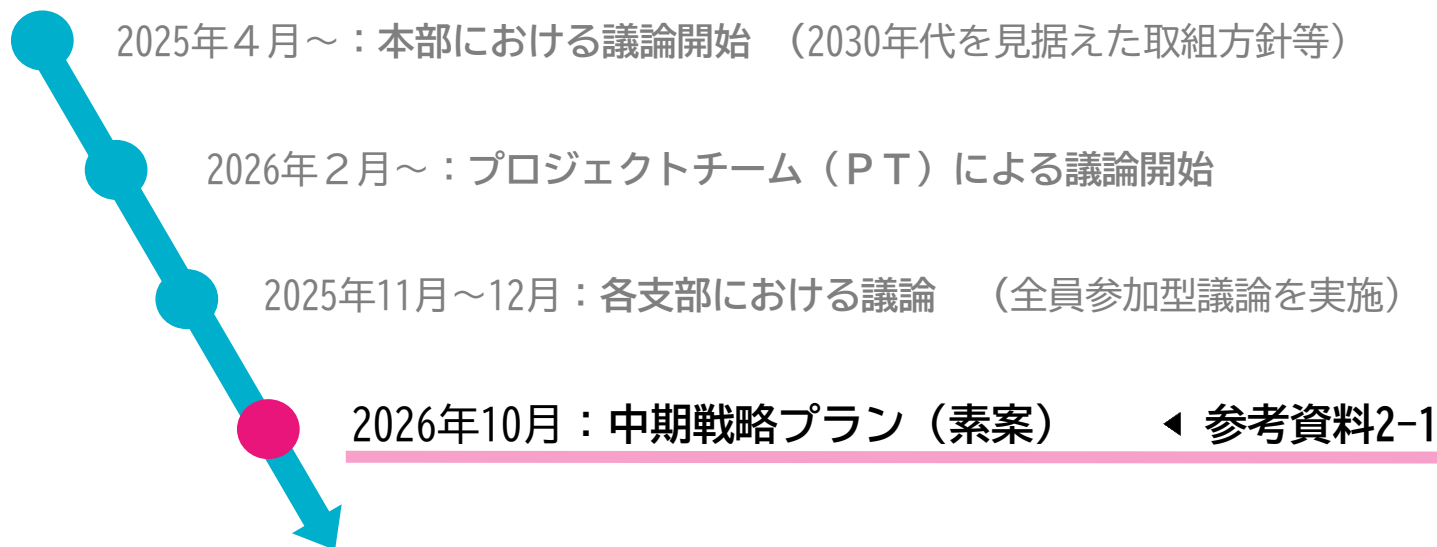
令和 8 年 1 0 月 2 6 日
全国健康保険協会福島支部

1. 「中期戦略プラン」これまでの経緯

- 協会は2008年10月の設立以来、保険者としての機能を強化し、その機能を十分に発揮していくため、中期的な視点で3年を1期とする「**保険者機能強化アクションプラン**」を策定し、様々な取組を推進してきた。
- 2040年の社会環境の変化を見据え、協会けんぽが戦略的に取り組む計画であることを明確にするため、これまでの「**保険者機能強化アクションプラン**」を「**中期戦略プラン**」として発展させる。



「中期戦略プラン」これまでの経緯



1. 「中期戦略プラン」これまでの経緯

中期戦略プランのイメージ《2027～2029年度》

基本理念

協会けんぽの理念である「加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る」を掲げる。

基本方針

2040年を迎えても、協会けんぽが理念に基づき責任ある保険者運営を継続的に実施できること。特に、2035年までを計画期間としている健康増進法に基づく「健康日本21(第三次)」を意識した取組を実施できること。このため、2030年代までに4つの視点(「ネットワークと標準化」、「サービスを個別化」、「仕事は考えるもの」、「リレーションの資産化」)により取組を行うことを浸透させる。また、支部の自律的運営を促進する環境を整えるとともに、支部における関係機関との連携強化を支援する。

議論の進め方

2030年代前半を見据え、協会が今後どのような姿勢で、社会のために活動を行っていくか、組織の持続可能性を高めていくかについて、引き続き本部・支部で議論を行う。

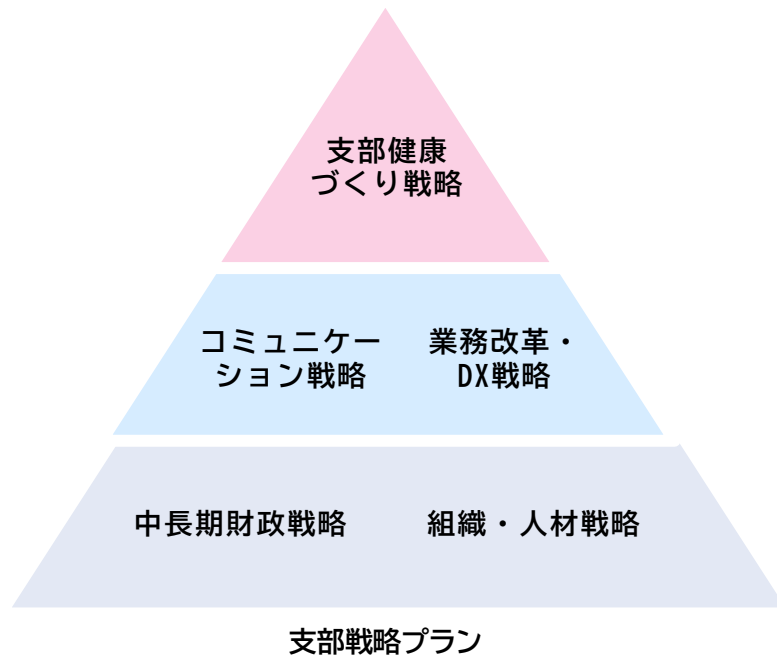
戦略フレームワーク

重点戦略		施策(例)
健康づくり戦略	健診・保健指導及び事業所とのコラボヘルス、ヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進及び重症化予防を図る。	健診 / 保健指導 / 重症化予防 / 健康経営※の普及(コラボヘルス) / ヘルスリテラシーの向上 / 行政、保険者、健診機関、経営者等のステークホルダーとの強固な連携 / 医療費適正化の推進(適正受診、薬の適正使用) ※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。
コミュニケーション戦略	加入者・事業主に対して協会及び協会の事業に関する認知度の向上を図るとともに、事業協力への基礎となる共感形成に取り組む。また、積極的な協働を働きかける。	広報活動の強化/けんぽアプリによる加入者とのコミュニケーション強化 / 健康保険委員・事業主との連携強化 / 関係機関・団体とのネットワーク連携強化
業務改革・DX戦略	デジタル技術を最大限に活用し、業務プロセスの抜本的な変革及びサービス水準の高度化を図る。	業務プロセスの標準化・効率化の推進 / サービス水準の向上(相談体制の強化等) / データ活用の高度化・データ分析基盤強化
中長期財政戦略	中長期視点に基づき、安定かつ持続可能な財政運営を実施する。将来のリスクを予見し、適正な保険料率設定と安定的な財政基盤の構築に努める	適正な保険料率の設定 / 準備金の在り方・長期運用の検討
組織・人材戦略	戦略の確実な実現のため、全職員が戦略策定の議論に参画する。また、戦略的な人材育成を行い、最適な人員配置等を構築する。併せて、リスク管理を確実に行うことで事業の継続性を確保し、加入者の信頼を確かなものにする。	本部・支部間のビジョン共有と浸透 / 全員が活躍できる職場環境づくりの構築 / 戦略的な人員配置・人材確保/ 人材育成の強化 / リスク管理及びコンプライアンスの徹底

※支部の健康課題に対する自律的な運営を推進するため、各支部は各支部の地域の健康課題や特性を把握したうえで、中期戦略プランを指針とし、新たに「支部戦略プラン」を策定する。

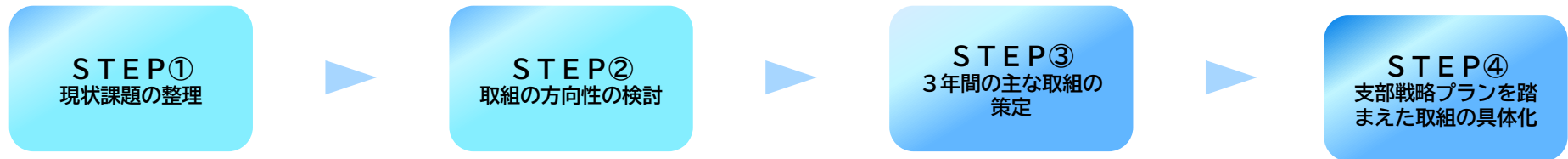
2. 支部戦略プラン・支部事業計画について

- 支部戦略プランは、「支部健康づくり戦略」を基軸とし、これを支える「コミュニケーション戦略」、「業務改革・DX戦略」、「中長期財政戦略」、「組織・人材戦略」の5つの戦略から構成し、中期戦略プラン（2027～2029（令和9～11）年度）をベースに、各支部の地域特性や健康課題を反映させた3年間の計画です。
- 支部事業計画は、中期戦略プランの5つの重点戦略に基づく事業に加え、それ以外に定常的に実施する事業から構成し、評議会での議論を通じて効果検証と柔軟な見直しを図ります。



3. 支部戦略プランの策定手順

各戦略の具体化は以下の4ステップに沿って進めます。



STEP①：現状課題の整理

- 各戦略における支部の課題や業務を進めるにあたってのボトルネックを抽出・整理します。

STEP②：取組の方向性の検討

- 中期戦略プランの全体方針や重点取組を確認します。
- 自支部の課題を踏まえて、取組の方向性を検討します。

STEP③：3年間の主な取組の策定

- 中期戦略プランに掲げた取組項目に対応した支部の取組を検討します。
- STEP②の課題を踏まえて、取組の具体化を行います。なお、中期戦略プランに掲げた取組項目に加え、支部の地域特性に応じて取り組む項目を追加することも可能です。

STEP④：支部戦略プランを踏まえた取組の具体化

- 支部戦略プランの取組を「令和9年度支部事業計画」の取組に具体化します。

4. 支部戦略プランの構成と本文案

- 支部戦略プランは、「**支部戦略目標**」、各戦略での「**戦略概要**」、「**3年間の主な取組**」から構成されます。
- 中期戦略プランの取組項目（赤字部分）を**全て盛り込んだ上※**で、地域特性に応じて取り組む内容を追加することも可能です。※「インセンティブ制度の見直し」、「最新のデジタル技術を活用したシステムの導入」は除く

（中期戦略プラン本文案）

●●支部戦略プラン

本プランは、全国健康保険協会の中期戦略プランに基づき、●●支部（以下「当支部」という。）の取組の方針をとりまとめたものです。

1. 支部戦略プランの定義と構成

（1）支部戦略プランの定義

支部戦略プランは、中期戦略プランに基づき、●●支部の地域特性や健康課題を踏まえて策定する3年間（2027（令和9）年度～2029（令和11）年度）の計画です。

（2）支部戦略プランの構成

本プランでは、中期戦略プランの5つの重点戦略に基づき重点的に実施する取組について、「支部戦略目標」、「戦略概要」、「3年間の主な取組」を定めます。

本プランの取組は毎年度の「支部事業計画」へ落とし込んで着実に実行し、評議会での議論を通じて、事業の効果検証を行うとともに柔軟に見直しを図ります。

2. 支部戦略目標

.....
.....
.....

3. 重点戦略

（1）健康づくり戦略

I）戦略の概要

.....
.....
.....

II）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

.....

[健康経営の推進]

.....

[健診の拡充]

.....

[特定保健指導の量・質の向上]

.....

[重症化予防の拡充]

.....

[ヘルスリデラシーの向上]

.....

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療費の適正化]

.....

4. 支部戦略プランの構成と本文案

(2) コミュニケーション戦略

I) 戦略の概要

.....
.....
.....

II) 3年間の主な取組

[協会や協会の取組への理解や関心の向上]

.....

[加入者との情報共有]

.....

[事業主等との情報共有]

.....

[関係機関・団体との連携強化]

.....

[国際化の推進]

.....

(3) 業務改革・DX戦略

I) 戦略の概要

.....
.....
.....

II) 3年間の主な取組

[業務の標準化・効率化]

.....

[サービス水準の向上]

.....

[けんぽアプリを通じたけんぽDXの実現]

.....

[データ分析・利活用]

.....

(4) 中長期財政戦略

I) 戦略の概要

.....
.....
.....

II) 3年間の主な取組

[適正な保険料率の設定]

.....

[準備金等のあり方]

.....

(5) 組織・人材戦略

I) 戦略の概要

.....
.....
.....

II) 3年間の主な取組

[本部・支部間のビジョン共有]

.....

[人材確保・人材育成]

.....

[多様な人材が活躍できる組織づくり]

.....

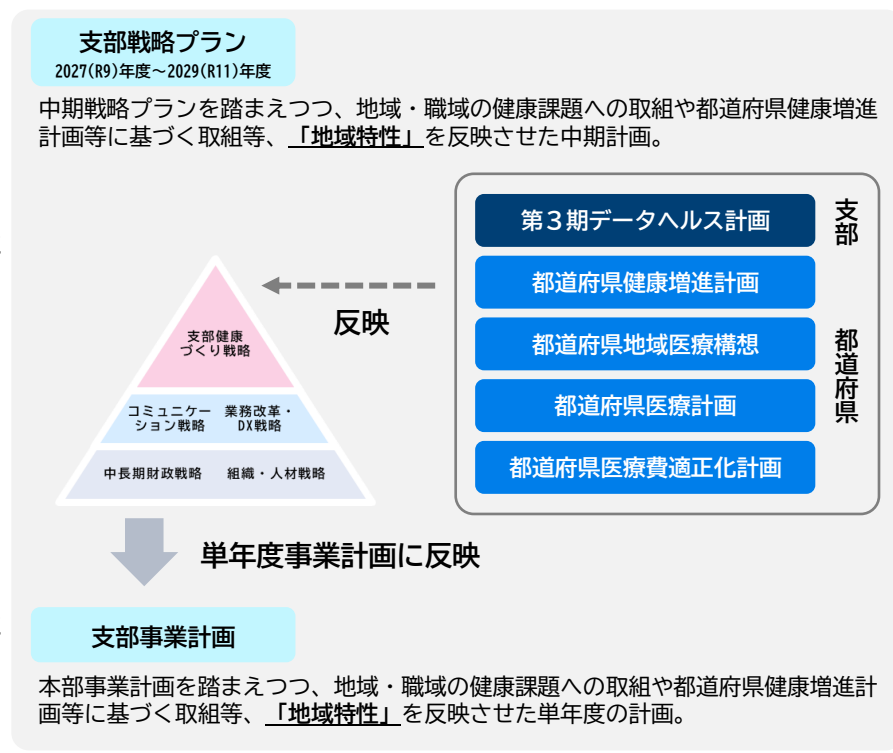
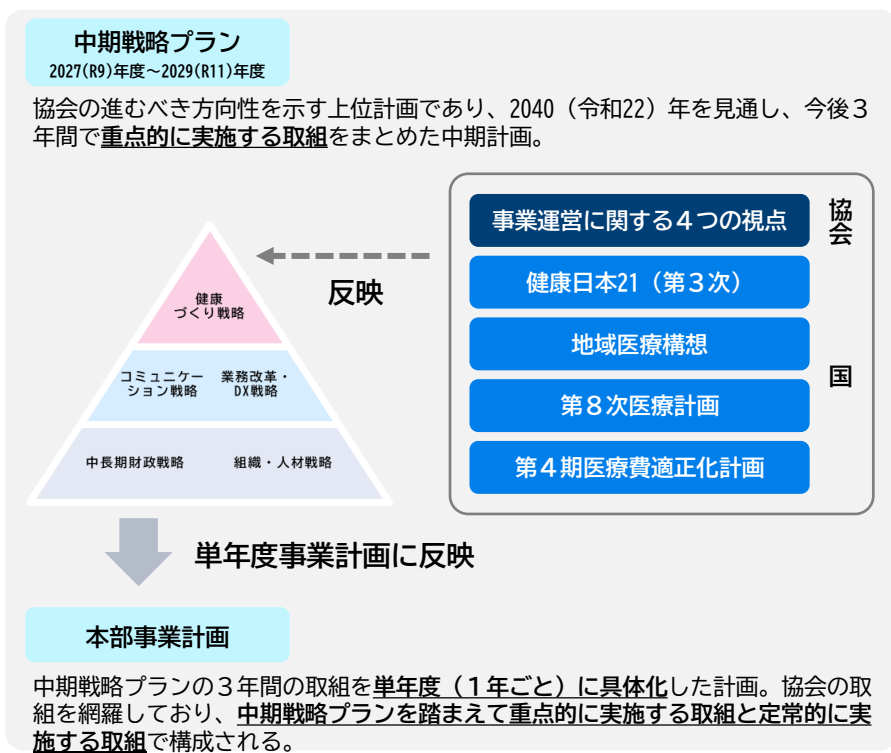
[コンプライアンスの徹底・リスク管理の高度化]

.....

5. 支部事業計画策定の方向性

令和9年度支部事業計画は以下の点を踏まえ策定します。

- ① 「支部戦略プラン」、「令和9年度本部事業計画」を踏まえ策定します。
- ② 中期戦略プランで掲げる5つの重点戦略で章立てします。
- ③ 5つの重点戦略に基づく事業に加え、それ以外に定常的に実施する事業を記載します。
- ④ 「当年度の取組の達成状況や達成内容、成果を適正に評価するための事業評価指標」のほか「計画期間中の進捗や課題を継続的に把握し、取組の見直しの判断を柔軟に行うためのモニタリング項目」を定めます。



6. 支部事業計画のイメージについて

【令和9年度支部事業計画（イメージ）】

- ## 1. 令和9年度における事業運営の基本方針

- ## 2. 重点戦略に関連する主な取組

- ## （１）健康づくり戦略

- ## I) 個人の特性に応じた支援

• 【重点】 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。

[illegible]

- □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□.

【重要度：高】

[illegible]

【困難度：高】

[illegible]

事業評価指標①：□□□□□□□□の割合 00%

モニタリング項目①：□□□□□□□の割合

モニタリング項目②：□□□□□□□の割合

- ## Ⅱ) 健康経営の推進

- ### Ⅲ) 健診の拡充

- #### IV) 特定保健指導の量・質の向上

- ## V) 重症化予防の拡充

- ## VI) ヘルスリテラシーの向上

- ## VII) 医療提供体制の確保・充実に向けた取組

- ## VIII) 医療費の適正化

- IX) インセンティブ制度の見直し

- ## (2) コミュニケーション戦略

- ## I) 協会や協会の取組への理解や関心の向上

- ## II) 加入者との情報共有

- ### Ⅲ) 事業主等との情報共有

- #### IV) 関係機関・団体との連携強化

- ## V) 国際化の推進

- ### (3) 業務改革・DX戦略

- ## I) 業務の標準化・効率化

- ## Ⅱ) サービス水準の向上

- ### Ⅲ) けんぽアプリを通じたけんぽDXの実現

- #### IV) 最新のデジタル技術を利用したシステムの導入

- ## V) データ分析・利活用

- #### (4) 中長期財政戰略

- ## I) 適正な保険料率の設定

- ## II) 準備金等のあり方

- ## (5) 組織・人材戦略

- ## I) 本部・支部間のビジョン共有

- ## II) 人材確保・人材育成

- ### Ⅲ) 多様な人材が活躍できる組織づくり

- #### IV) コンプライアンスの徹底・リスク管理の高度化

(参考) 事業計画のフォローアップを通じた中期戦略プランの実効性の確保

- 事業計画において中期戦略プランの重点戦略を具体化した取組には、「「戦略目標」の達成に向けた取組の拡大・推進（①）」と「社会環境の変化に柔軟に対応した取組の推敲・継続（②）」が求められる。
- このため、事業計画には「当年度の取組の達成状況や達成内容、成果を適正に評価するための事業評価指標（①）」と、「計画期間中の進捗や課題を継続的に把握し、取組の見直しの判断を柔軟に行うためのモニタリング項目（②）」を定める。
- また、具体化した取組は、毎年度の事業報告において達成状況や達成内容、成果を検証し、運営委員会の議論を通じて「戦略目標」の達成に向けて柔軟に見直しを図る。
- 協会は、上記を通じて様々な視点から取組の推進・推敲を図り、中期戦略プランの実効性を確保する。

